

第 34 回 酪農試験場酪農フォーラム開催プログラム

民間の有識者らでつくる「人口戦略会議」の報告書において、釧路根室管内 9 市町が将来的に「消滅可能性自治体」になると公表されるなど、社会全体における人口減少化は今後一層進むと予想されます。酪農業では労働人口の減少に対し、牧場従業員の雇用や農作業の外部委託化などの取り組みが図られていますが、これらに対応する人材不足が問題とされ、さらに、本年 4 月からトラック運転手の時間外労働の上限 960 時間/年の適用猶予が終了し（2024 年問題）、生乳生産資材の調達や牧草生産に支障について懸念されます。

そこで、第 34 回目を迎える酪農試験場酪農フォーラムでは、酪農における労働力減少に対応した将来への展望を考える機会を設けるため、下記のテーマで開催を企画しました。

テーマ：労働力減少社会に向けて ー対応した将来への展望ー

日 時：令和 6 年 11 月 28 日（木） 14：00～16：30

場 所：酪農試験場 講堂

〒086-1135 標津郡中標津町旭ヶ丘 7 番地（0153-72-2004）

主 催：（地独）北海道立総合研究機構 酪農試験場

＝＝＝＝＝＝＝＝プログラム＝＝＝＝＝＝＝＝＝

1 開 会

2 開会あいさつ 14：00～14：10

酪農試験場 場長 杉本 昌仁

3 基調講演 14：10～14：50

「酪農業における農業従事者の動向と課題」

秋田県立大学 生物資源科学部 准教授 濱村 寿史

4 話題提供① 14：50～15：20

「根釧地域におけるトラック運送業の実態について」

東盛運輸株式会社 代表取締役 土谷 悠介

* * * 休 憩 * * * (10 分) 15：20～15：30

5 話題提供② 15：30～16：00

「根室振興局における担い手の取り組みについて」

北海道根室振興局 産業振興部農務課 課長 白岩 光康

6 総合討論 16：00～16：30

7 閉 会 16：30